

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和元年8月29日

施設名	甫喜ヶ峰森林公園	所管課	林業振興・環境部 林業環境政策課
-----	----------	-----	------------------

1 施設の概要

指定管理者名	(一社)高知県山林協会	指定期間	平成27年4月1日 ~ 令和2年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町平山		
事業内容	(1) 森林公園における行為の許可等及び森林学習展示館の利用の許可等に関する業務 (2) 利用料金の徴収に関する業務 (3) 森林公園の施設、設備、機械器具、立木等の維持管理及び補修に関する業務 (4) 森林公園の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	森林公園の面積:102ha 森林学習展示館(466.56㎡、延床面積400.0㎡)、研修棟(ホッキーの館、172㎡)、遊歩道(L=7,500m、車椅子用1,764m)、キャンプ場、林道(甫喜ヶ峰線3,232m、御幸線859m)、風力発電施設(公営企業局) 利用時間:午前9:00から午後4:30まで 休園日:12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金:行商等及び興行等 使用面積1㎡当たり日額20円		
職員体制	常勤職員:2人	嘱託員:2人	合計:4人

2 収支の状況

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)
収入	県支出金	20,100	20,100	20,560
	参加料	484	836	104
	その他	1,249	1,721	5
	収入計 (a)	21,833	22,657	20,669
支出	事業費	1,642	2,157	548
	管理運営費	4,550	4,676	3,401
	人件費	16,922	16,056	16,720
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	23,114	22,889	20,669
収支差額 (a)-(b)		△ 1,281	△ 232	0

3 利用状況

	平成29年度(実績)	平成30年度(実績)	令和元年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	55,923	56,417	52,000
	職員派遣事業等により施設外での対応実績人数		
	1,786	1,902	2,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況		
	<ul style="list-style-type: none"> 施設内にアンケート回収箱を設置するとともに、イベント時には参加者にアンケートを実施した。 来園者に声掛けするなど直接声を聴く取り組みを行っている。 イベント内容や、開催時期・時間などには90%以上の参加者が満足、やや満足と回答している。 アンケート回答者のうち初めてイベントに参加した人は49%と、イベント開催による新たな来園者の獲得には一定の成果があった。 		
③その他特記事項	○ 利用者意見等を踏まえた対策		
	<ul style="list-style-type: none"> アウトドア志向の高まりに合わせたキャンプ講座やサバイバル体験イベントの実施を行った。 展示館内のはく製の名札が汚れているとの指摘を受け、全て作り直した。 		

4 平成30年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> 少ない人員体制で山林協会職員、ボランティア等と協力して運営できている。 アウトドアブームによる多人数のキャンプ客への素早い対応がとれており利用者が楽しむことができている。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> 四季折々のイベントを年間を通して実施している。 森林環境教育等、学校の先生等からの評価も良い。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> 利用者は増加しており、目標を上回っている。
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> 限られた予算の中で適切な運用が行われている。
総合評価	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> 限られた人員で広い園内の管理やキャンプ場利用者の対応等ができる。 学校、施設の受け入れにより、他の施設では対応できない役割を果たしている。 危機管理体制ができているとともに、地域と連携した防災訓練を行う等連携を深めている。 アウトドア志向の高まりに合わせたキャンプ講座やサバイバル体験イベントの実施を行う等、新たな取組を実施している。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの